




- ペラックスイート パイン S ●ペラックスイート ブルーベリー S
- ペラックスイート ライム S
- ルルメディカルドロップ O(オレンジ味) ●ルルメディカルドロップ G(グレープ味)
- ルルメディカルドロップ H(はちみつレモン味)

| 【使用上の注意】   | 【解 説】   |
|--|---|
| <p> <b>使用上の注意</b></p> <p> <b>してはいけないこと</b></p> <p>(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)</p> <p>本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないで下さい。</p> <p style="padding-left: 20px;">他の鎮咳去痰薬、かぜ薬、鎮静薬</p> | <p>共通事項解説〔2〕参照</p>  |
| <p> <b>相談すること</b></p> <p>1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。</p> <p>(1) 医師の治療を受けている人</p> <p>(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人</p> <p>(3) 授乳中の人</p> <p>(4) 高齢者</p> <p>(5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人</p> <p>(6) 次の症状のある人<br/>高熱</p> <p>(7) 次の診断を受けた人<br/>心臓病、高血圧、糖尿病、甲状腺機能障害</p>      | <p>1.</p> <p>(1) 共通事項解説〔4〕参照</p> <p>(2) 共通事項解説〔5〕参照</p> <p>(3) dl-メチルエフェドリン塩酸塩は母乳に移行することが知られています。乳児への具体的な有害反応は不明で、安全性は確立されていないため、服用前に専門家に相談して服薬指導等の指示を受ける必要があります。</p> <p>(4) 共通事項解説〔6〕参照</p> <p>(5) 共通事項解説〔7〕参照</p> <p>(6) 記載されている症状のある人は、下記のような理由で服用前に相談が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高熱<br/>かぜ以外のウイルス性の感染症やその他の重篤な疾病も考えられます。</li> </ul> <p>(7) 記載されている疾患の診断を受けた人は、本剤に配合されている成分により、病状が悪化するおそれがありますので、服用前に相談が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 心臓病、高血圧、甲状腺機能障害<br/>dl-メチルエフェドリン塩酸塩の交感神経刺激作用により、血圧を上昇させ、心拍数を増加させるため、心臓病、高血圧、甲状腺機能亢進症(動悸、発汗、手のふるえ、いらいら等)の症状を悪化させるおそれがあります。</li> <li>● 糖尿病<br/>dl-メチルエフェドリン塩酸塩の交感神経刺激作用により、肝臓のグリコーゲンが分解され血糖値が上昇し、悪化するおそれがあります。</li> </ul> |

- ペラックスイート パイン S ●ペラックスイート ブルーベリー S
- ペラックスイート ライム S
- ルルメディカルドロップ O(オレンジ味) ●ルルメディカルドロップ G(グレープ味)
- ルルメディカルドロップ H(はちみつレモン味)

### 【使用上の注意】

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この外箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

| 関係部位  | 症 状         |
|-------|-------------|
| 皮 膚   | 発疹・発赤、かゆみ   |
| 消 化 器 | 吐き気・嘔吐、食欲不振 |
| 精神神経系 | めまい         |

3. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この外箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

### 【用法・用量に関連する注意】

1. 用法・用量を厳守して下さい。
2. 5歳以上の小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。

### 【保管及び取扱い上の注意】

1. 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
2. 小児の手の届かない所に保管して下さい。
3. 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります)
4. スティックパック開封後は速やかに服用して下さい。
5. 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。

### 【解 説】

2. 例示したような副作用症状が起こる可能性があります。これらの症状があらわれた場合には、症状の増悪や重篤な副作用への移行を未然に防ぐため、直ちに服用を中止し、服用している薬剤の成分等がわかる外箱を持参の上、専門家に相談する必要があります。

3. 5～6回服用しても症状の改善がみられない場合は、他の疾患や合併症も考えられますので、服用を中止し、専門家に相談する必要があります。

1. 共通事項解説〔8〕参照

2. 共通事項解説〔9〕参照

1. 共通事項解説〔11〕参照

2. 共通事項解説〔12〕参照

3. 共通事項解説〔13〕参照

4. 湿気によりドロップが吸湿すると、変色したり、成分が変質したりすることがあるので注意が必要です。

5. 共通事項解説〔17〕参照